



徹底追及

# 統一協会

闇勢力編①

東京都近郊のターミナル駅近くにある喫茶店で、50歳がらみの男性2人が向き合っていました。

## 情報提供料

を取り出し渡しました。封筒の中身は1万円札1枚です。「世界思想」の定価は1千円にもかかわらず…。封筒を渡した男性は、当時、公安調査庁職員だった西道弘氏。

「情報提供料ですよ。1万円は資料代として公安調査庁に請求していたように思います。まあ『世界思想』なんて統一協会のプロパガンダで役にたちませんが、西氏は少し甲高い声でそう証言します。」

「相手の男性は何者か。」「勝共連合の地方組織の引き換えのように、茶封筒」

## 勝共連合と公安



国際勝共連合の本部が入るビル 東京都港区

# 「汚れ仕事」担当

幹部でした。月に1回くらい会っていたかな。相手から連絡が来ることが多いが、こちらから『そろそろ会わないか』ということもあった。だいたい30分から1時間程度でした」

## 大衆協力者

西氏に質問しました。

「スパイ組織が勝共連合と位置づけ撲滅の対象としています。勝共連合は反共謀略ヒラの配布など、自民党が公然とできないような『汚れ仕事』を担当。まさに日本政治の闇勢力です。」

「統一協会のメンバーと会ってどんな話をするのか。」「相手は地元の共産党の意向を話していました。地方選挙の情勢とかでしたね。自民党国会議員の選挙を手伝ったとかも話していました。正直たいした情報はないのです」

「それでも会っていた？」「大衆協力者」という位置づけでした。企業の危機管理担当や官公庁の労務担当とかと同じです」

「統一協会は公安調査庁にとってどんな利用価値があったのか。西氏はこう続けます。」

「公安調査庁にとって『反共』という点で統一協会は友好団体みたいなものなのです。」 (統一協会取材班)

「公安調査庁とは国民に対して日常的にスパイ活動をしている政府の組織。盗聴、脅迫、金品の提供などによるスパイ工作といった違法で卑劣な手法をとってきた。とくに日本共産党や

機関にいた十数年前に、業務で統一協会関連も担当していました。」

統一協会の正体、政界との関係、そして被害の実態を連載で追及していきます。

## 山添拓参院議員



## 憲法生かし平和外交

終戦77年 共産党が街頭宣伝

終戦77周年記念日街頭宣伝で訴える山添拓参院議員。左は阿部泰樹民衆中央常任委員=15日、東京・池袋駅西口

2つの署名をすすめています。  
①憲法9条を守り、生かそう  
②政府は一刻も早く核兵器禁止条約に署名をぜひ、ご協力ください。

くらし、法律、年金のことなど  
ご相談は、TEL 03-3905-0970

①11月の時は、お名前と電話番号をメッセージ。